

# FUJIFILM

Value from Innovation

## IMRT(強度変調放射線治療)における

# ポータブルエコーの活用

### ～患者の負担軽減と治療のスループット向上のために～



Lecturer  
K. Kawano

30分

受講料  
無料

日時

2021年 **6/25(金)** 11:30～**6/27(日)** 23:00

申込締切

2021年 6/18(金)

定員

1,000名 ※定員となり次第お申込みを終了させていただきます。

費用

無料

申込

専用申込フォームからお申込みください。  
( <https://forms.gle/mkj4FVyvMyLW5om57> )



#### — 河野先生からのメッセージ —

放射線治療法の一つである「IMRT(強度変調放射線治療)」は、専用の治療計画用コンピュータを用いて放射線強度を細かく調整することで、腫瘍に対して集中的に放射線を照射できるため、副作用を軽減しながら治療成績の向上を目指すことができます。

そして、前立腺IMRTにおいては、前立腺と近接する膀胱に当たる線量を低減するために、照射前に一定量の尿を蓄えておくことが必要になります。

前立腺IMRTの前処置として1時間前から蓄尿を行い、照射直前に撮影する位置合わせ用のCone-beam CT(CBCT)画像で尿量を確認していましたが、尿量が少ない場合は、再度蓄尿した後に改めてCBCTを撮影しなければならず、それには大きな手間と患者さんの被ばくが伴います。

そこで、当院ではポータブルエコーを用いて、CBCTの撮影前に尿量を把握することで、患者さんおよび放射線技師の負担軽減、放射線治療のスループット向上につなげています。

講演時間  
30分

演者 **河野 一洋 先生**

大阪府済生会中津病院 放射線治療技術部  
放射線治療室 室長

※ 受講に伴う通信費は受講者のご負担となります。  
通信環境の良いところでご受講されることをお勧めいたします。

主催: 富士フイルムメディカル株式会社